

第1 分科会

学校教育とPTA

～高校教育の進む方向は～

「新米会長奮闘記」—— 北海道札幌月寒高等学校PTA会長／小竹知子氏
 「八王子東高校応援団」—— 東京都立八王子東高等学校前PTA会長／日野出美智子氏
 「地域に学ぶ自然と心」—— 兵庫県立森山産業高等学校丹南校PTA会長／赤松美千代氏
 PTA副会長／山田康代氏

「PTA活動の難しさと面白さ」—— 愛媛県立松山商業高等学校PTA会長／瀧平龍二氏

今日、家庭や地域と連携した開かれた学校づくりが各地ですすめられている。高等学校とPTAの望ましい連携の在り方について研究協議した。

小竹氏は、会長就任から学校祭や会報発行などの取り組みを報告し、日野出氏は、子ども・教師・保護者で繋ぐ信頼のトライアングルについて報告した。赤松・山田氏は、自然を生かした取り組みの実際について報告し、瀧平氏は、情報発信ツール「メールマガジン」を活用した実践を報告した。

いずれの発表もそれぞれの地域・学校にあった実践であり、実り多い分科会となった。



第3 分科会

生徒指導とPTA

～子どもたちの生活意識は～

「生徒の現状に寄り添ったPTA活動」—— 青森県立板柳高等学校PTA会長／鶴山毅氏
 「PTA活動 新たな試み・島高の挑戦!」—— 静岡県立島田高等学校PTA会長／前田修児氏
 「子どもと共に子どものためのPTA」—— 大阪市立汎愛高等学校PTA副会長／曾我初美氏
 「我々が変わらなければ子どもは変わらない」—— 佐賀県立唐津工業高等学校PTA前会長／岸本辰也氏

近年、青少年犯罪の凶悪化・低年齢化が進み、いじめや不登校などの憂慮すべき事態が生まれている。青少年の規範意識や倫理観を高め、人を思いやる心を育成するために何ができるか研究協議した。

鶴山氏は、除草作業や学校祭のバザーに保護者が積極的に参加し、会員相互や、生徒と交流を深めた活動を素朴な津軽弁で報告した。前田氏は、保護者と生徒の本音討論会を通して、親と子がお互いの理解を深めた活動を報告した。曾我氏は、学校行事に親が参画することで、親自身も成長でき、学校作りのパートナーとして協力していきたいと述べた。岸本氏は、自分が全校マラソンを完走した例をあげ、子どもにしっかりと背中を見せられているかと問い合わせた。また、会場からの質問に、PTA総会を日曜日にし、欠席者総会を何度も開くことで98%の出席率を得たと答えた。



第2 分科会

進路指導とPTA

～職業意識をどうするか～

「山東夢プラン」を支える柱とPTA活動—— 山形県立山形東高等学校PTA会長／田中孝真氏
 「親子で学ぶキャリア教育」—— 神奈川県立金沢総合高等学校PTA会長／大山亮一氏
 「本校の進路指導とPTAの取り組み」—— 富山県立上市高等学校PTA会長／松谷英真氏
 「保護者も学ぶキャリア教育」—— 岡山県立瀬戸高等学校PTA会長／井上一浩氏

産業構造が大きく変化し、雇用形態の見直しが行われ、職業観も多様化している中にあって、青少年の望ましい職業観・勤労観を養うために、PTAとして何ができるのか研究協議した。

田中氏は、「山東夢プラン」と名付けられた進路学習を支える柱とPTA活動について報告し、大山氏は、親子で学ぶキャリア教育の効果的な取り組みについての報告した。松谷氏は、PTAによる社会人講話や特別講座、インターンシップについて報告した。井上氏は、「保護者も学ぶキャリア教育」についての取り組みを報告した。

それぞれが特色のある実践報告で、有意義な研究協議となった。



第4 分科会

家庭教育とPTA

～家庭の絆とは～

「食」と「語らい」、そして「携帯電話」—— 群馬県立沼田高等学校PTA顧問／渡辺昇子氏・星野松恵氏
 副会長／宮澤真咲美氏・青木洋子氏
 「家庭教育の現状と課題」—— 新潟県立新潟北高等学校PTA会長／稗田光男氏
 「本校の小さな活動を通して」—— 三重県立伊勢まなび高等学校PTA書記／佐々木弥栄子氏
 「子どもたちと共に歩むPTA」—— 福岡県立ありあけ新世高等学校PTA会長／桑野勝雄氏

核家族化や少子化の進行などによる、家庭の教育力の低下が指摘されている。次世代を生きる子どもに必要な能力を家庭でしっかりと身につけさせる必要がある。家庭教育や子育てという観点から、家族の絆を深めるためにPTAとして何ができるか研究協議した。

沼田高校PTAは「食」の在り方と家庭内での会話の在り方との関連性などについて報告した。稗田氏は朝食と一緒にとることや挨拶などの家庭での生活スタイルの改善を報告し、佐々木氏は子どもと同じ時間と空間を共有するためのしきたりを作りを報告した。桑野氏はPTA活動に参加して子どもたちと共通の話題を持つことの必要性を報告した。

